

- 問1 大航海時代の始まりを支えた技術的な背景について、当時の航海技術の向上を説明した記述として正しいものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 蒸気機関が発明されたことで、帆を使わずとも風向きに左右されずに外洋へ進出できるようになった | 2. 活版印刷術によって、一般庶民にいたるまで最新の正確な世界地図が安価に普及した | 3. 羅針盤が実用化されたことで、陸地の見えない遠洋においても方位を正確に把握し航行できるようになった | 4. 望遠鏡が普及したことで、夜間でも遠くにある島や大陸の形を詳細に観察できるようになった |
|--|---|---|---|
- 問2 豊臣秀吉が「太閤検地」において、全国でバラバラだった「升（ます）」の大きさを統一したり、田畑の等級を定めたりした理由として、正しいものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|--|-------------------------------|------------------------------------|
| 1. 全国での測量技術を向上させ、正確な日本地図を完成させるため | 2. 土地の生産力を正確な「石高」として把握し、不公平なく年貢を徴収するため | 3. 武士が自分の領地で勝手に税率を決める権利を強めるため | 4. 農民が自由に土地を売買できるようにして、農業の効率化を図るため |
|----------------------------------|--|-------------------------------|------------------------------------|
- 問3 豊臣秀吉が実施した、土地の生産力を米の収穫量で表す「石高」の制度が導入された目的と社会への影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 土地の生産力を明確にすることで、大名に課す軍役の重さや、農民が納める年貢の基準を確定させた。 | 2. 土地ごとの特産品の種類を調査することで、米以外の作物の生産量を石高に加算して重税を課した。 | 3. 土地の面積のみを基準として把握することで、農地を拡大した者に新たな領地の所有権を認めた。 | 4. 土地の価値を当時の貨幣価値に換算することで、農民が年貢を現金で納める仕組みを全国に広めた。 |
|---|--|---|--|
- 問4 16世紀末に行われた豊臣秀吉による朝鮮出兵は、当時の日本の文化に大きな影響を与えました。この出来事をきっかけに、朝鮮から連れてこられた陶工たちによって九州を中心に始まった、日本初の磁器とされる伝統工芸品を何といいますか。その名称と背景として正しい説明を選びなさい。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 備前焼。平安時代から続く伝統的な技法が、朝鮮から伝わった新しい登り窯の技術によって改良され、岡山県で発展した。 | 2. 瀬戸焼。鎌倉時代に中国へ渡った陶工が持ち帰った技術をもとに、愛知県周辺で茶器などの生産が盛んになった。 | 3. 九谷焼。江戸時代初期に、加賀藩が朝鮮の陶工を招いて独自の色彩豊かな磁器を開発し、石川県で広まった。 | 4. 有田焼。朝鮮出兵の際に大名たちが優れた技術を持つ陶工を連れ帰ったことで、佐賀県を中心に磁器の生産が始まった。 |
|--|--|--|---|
- 問5 安土桃山時代には、姫路城のような壮大な城郭が築かれ、その内部は金箔をふんだんに使った豪華な障壁画で飾られました。このような、戦国大名や豪商の権力と富を背景とした、豪華で力強い特色を持つ文化を何と呼びますか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 国風文化 | 2. 天平文化 | 3. 桃山文化 | 4. 化政文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 日本の戦国時代から安土桃山時代にあたる16世紀のヨーロッパにおいて、当時のキリスト教のあり方を根本から変え、後の社会に大きな影響を与えた出来事はどれか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 1. フランス革命 | 2. 世界恐慌 | 3. 十字軍の遠征 | 4. 宗教改革 |
|-----------|---------|-----------|---------|
- 問7 織田信長が実施した「楽市・楽座」の目的と内容について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 商人に株仲間を作らせて営業の独占権を認め、幕府への運上金を増やそうとした。 | 2. キリスト教の布教を禁止するとともに、海外との貿易を特定の港だけに制限しようとした。 | 3. 土地の広さや収穫量を全国規模で調査し、農民から効率的に年貢を徴収しようとした。 | 4. 座の持つ独占的な販売権を排除することで、多くの商人を呼び込み城下町を活性化させようとした。 |
|--|--|--|--|
- 問8 戦国大名の織田信長が、道づくりに力を入れるとともに、各地に設置されていた「関所」を廃止した主な目的は何ですか。肖像画が残されている信長の、経済政策としての側面から説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|------------------------------|
| 1. 西廻り航路を整備し、日本海側の特産品を大坂へ運ぶため | 2. 調や庸といった税を、地方から都へ効率よく運ばせるため | 3. 領国内の流通を活性化させ、物資の往来や商業を盛んにするため | 4. 欧米の進んだ文化やキリスト教を積極的に導入するため |
|-------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|------------------------------|
- 問9 1498年のバスコ・ダ・ガマによるインド到達から、1600年のイギリス東インド会社設立までの時期に、日本国内で起こった出来事として正しいものはどれですか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 1. ポルトガル人が種子島に漂着し、鉄砲を伝えた | 2. オランダ人が長崎の出島で貿易を独占した | 3. コロンブスが大西洋を横断し、カリブ海に到達した | 4. 中国の元軍が博多湾に上陸し、御家人が戦った |
|--------------------------|------------------------|----------------------------|--------------------------|
- 問10 15世紀後半から始まった大航海時代において、コロンブスが大西洋を横断する航海を行った主な背景と目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 地中海貿易を独占していたイタリアの諸都市と協力し、アフリカ西海岸の開拓を進めるためであった。 | 2. 北アメリカ大陸にある金や銀の資源を独占し、イギリスやフランスの進出を阻止することが最大の目的であった。 | 3. ポルトガルの支援を受け、アフリカ南端の喜望峯を経由してインドへ到達するルートを確立するためであった。 | 4. オスマン帝国の台頭により従来の陸路が困難になったため、香辛料の産地であるアジアへの新航路を求めた。 |
|---|--|---|--|
- 問11 1600年に起こり、徳川家康率いる東軍が石田三成ら西軍に勝利したことで、江戸幕府による全国支配の決定機となった戦いはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 本能寺の変 | 2. 関ヶ原の戦い | 3. 桶狭間の戦い | 4. 長篠の戦い |
|----------|-----------|-----------|----------|
- 問12 豊臣秀吉が発令した「総無事令」の背景とその仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 江戸幕府の成立を背景に、将軍が大名に対して参勤交代を義務付け、反乱の芽を摘み取るための基本法とした。 | 2. 兵農分離を進める背景として、農民から刀や弓などの武器を没収し、一揆を防止するとともに身分制度を確立させた。 | 3. 関白の権威を背景に、大名間の領土問題を秀吉の裁定にゆだねさせ、私戦を続ける者を武力で討伐する根拠とした。 | 4. 安土城の築城を背景に、信長が実施した楽市・楽座を引き継ぎ、商工業の自由化を全国に広めることを目的とした。 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 羅針盤が実用化されたことで、陸地の見えな い遠洋においても方位を正確に把握し航行で きるようになった	15世紀頃には羅針盤が実用化され、方位を正確に知ることが可能になったことが大航海時代の 大きな推進力となりました。これにより、それまでの沿岸航海とは異なり、指標となる陸地が 見えない広大な外洋（遠洋）を航海することが技術的に可能になりました。
問2	答え 2 土地の生産力を正確な「石高」として把握し 、不公平なく年貢を徴収するため	それまでは地域や領主ごとに測定基準が異なり、正確な生産量の把握が困難でした。秀吉は「 京升」に基準を統一し、土地の良し悪しに応じた生産量を「石高」という単位で検地帳に記録 しました。これにより、農民には年貢の負担義務を、武士には石高に応じた軍役（軍事的な負 担）の義務を課す仕組みが確立されました。
問3	答え 1 土地の生産力を明確にすることで、大名に課 す軍役の重さや、農民が納める年貢の基準を 確定させた。	石高制の導入により、一地一作人の原則に基づき、検地帳に登録された農民が年貢を納める義 務を負うことが明確になりました。また、大名に対してもその領地の石高に応じた軍役（兵力 を出す義務）が課されるようになり、土地を通じた支配・被支配の仕組みが確立されました。 これにより、武士が農村から離れて城下町に住む兵農分離も進みました。
問4	答え 4 有田焼。朝鮮出兵の際に大名たちが優れた技 術を持つ陶工を連れ帰ったことで、佐賀県を 中心に磁器の生産が始まった。	豊臣秀吉による2度の朝鮮出兵（文禄・慶長の役）の際、出兵した大名たちが朝鮮から多くの 陶工を日本へ連れて帰りました。これにより、佐賀県の有田（当時の鍋島藩）において、それ までの日本にはなかった「磁器」の生産が始まりました。このことから朝鮮出兵は「焼き物戦 争」とも呼ばれることがあります。有田焼は近くの伊万里港から積み出されたため、伊万里焼 とも呼ばれます。
問5	答え 3 桃山文化	織田信長や豊臣秀吉が天下統一を進めた時代、戦国大名や都市の豪商たちの圧倒的な経済力と 権力を象徴する形で発展しました。城郭建築や狩野永徳による金碧障壁画などがその代表例で す。
問6	答え 4 宗教改革	16世紀は日本では織田信長や豊臣秀吉が活躍していた時代です。この時期のヨーロッパでは、 ルターやカルバンらがカトリック教会の改革を求めた宗教改革が起こっていました。十字軍は 11世紀から13世紀、フランス革命は18世紀末、世界恐慌は20世紀の出来事であるため、時期 が異なります。
問7	答え 4 座の持つ独占的な販売権を排除することで、 多くの商人を呼び込み城下町を活性化させよ うとした。	それまでの商業は「座」と呼ばれる特定の組合が販売権を独占していましたが、信長はこの特 権を取り上げました。市場での税金を免除（楽市）し、座の特権を廃止（楽座）することで、 自由な競争を促し、城下町の経済的な発展を狙いました。江戸時代に幕府の公認を得て特権を 持った「株仲間」とは性質が異なる点に注意が必要です。
問8	答え 3 領国内の流通を活性化させ、物資の往来や商 業を盛んにするため	織田信長は、自身の領国内で人や物の動きを制限していた関所を撤廃することで、商工業を活 性化させようとしてしました。これは「楽市・楽座」などの政策とも深く関連しており、特権を持 つ寺社や公家の経済的基盤を弱めると同時に、自領の経済力を高めて戦国大名としての勢力を 拡大させる狙いがありました。
問9	答え 1 ポルトガル人が種子島に漂着し、鉄砲を伝え た	設問の期間は主に16世紀（戦国時代から安土桃山時代）に該当します。1543年のポルトガル 人による鉄砲伝来はこの期間内の出来事です。オランダ人が出島で貿易を独占するのは1641 年以降（江戸時代）、コロンブスの到達は1492年、元軍の襲来（元寇）は13世紀（鎌倉時代 ）の出来事であり、いずれも時期が異なります。
問10	答え 4 オスマン帝国の台頭により従来の陸路が困難 になったため、香辛料の産地であるアジアへ の新航路を求めた。	当時のヨーロッパでは香辛料の需要が高まっていましたが、陸上の交易路がオスマン帝国の勢 力下に入ったことで、直接アジアへ向かう海路の開拓が急務となりました。スペインの援助を 受けたコロンブスは、地球が丸いことを前提に、大西洋を西に進むことで最短でアジアへ到達 できると考え、航海を開始しました。アフリカ回りの航路を重視したポルトガルとは対照的な 戦略でした。
問11	答え 2 関ヶ原の戦い	豊臣秀吉の死後、次代の主導権を巡って全国の大名が二分されたこの戦いは、「天下分け目の 戦い」と呼ばれます。勝利した徳川家康は圧倒的な権力を掌握し、1603年に征夷大将軍とな って江戸幕府を開くことで、約260年続く安定した近世国家の体制を築きました。
問12	答え 3 関白の権威を背景に、大名間の領土問題を秀 吉の裁定にゆだねさせ、私戦を続ける者を武 力で討伐する根拠とした。	それまでの戦国大名は「自力救済（自分の力で問題を解決すること）」が原則でしたが、秀吉 はこの法令によって紛争の裁定権を自分（豊臣政権）に一本化しようとしてしました。これに従わ なかった九州の島津氏や関東の後北条氏を討伐することで、秀吉は武力と法制度の両面から全 国支配を完成させました。